



京浜急行電鉄株式会社  
取締役社長

川俣 幸宏



日頃から、京急グループをご利用いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当社グループを取り巻く事業環境は急激に変化しました。本年5月から、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類へ変更となりましたが、それまで長期間にわたり感染防止対策にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。鉄道輸送人員も回復傾向にありますが、今後も従前の輸送水準には戻らないものと考えており、安全で安心していただけるサービスを提供し続けるために、事業構造の変革に取り組む所存でございます。

お客さまや社会の信頼に応え続けるために、鉄道事業においては、鉄道安全管理規程に定めた安全管理体制のもと、安全最優先の意識を徹底するとともに、法令や規程等を順守し、厳正・誠実に職務を遂行することにより、引き続き安全・安定輸送の確保に努めてまいります。

2022年度は、ホームドアの設置や高架橋耐震補強工事、法面防護工事、車両の更新・改造、電気設備の改修工事等を実施したほか、安全に関する教育や異常時に備えた訓練、鉄道テロ対策、新型コロナウイルス感染症対策など、ハード・ソフト両面から対策を強化してまいりました。引き続き、安全が全ての土台であるとの認識のもと、さらなる安全性の向上に全力を尽くしてまいります。

なお、厳しい経営環境のもと、安全の継続に必要な既存設備の維持管理、さらなる安全性向上に向けたホームドア等の整備を進めていくため、不足する費用の一部をお客さまにもご負担いただきたく、本年10月から運賃改定を実施させていただきます。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、2022年度における当社の安全確保に関するさまざまな取り組み状況等を、みなさまにご理解いただくため作成したものです。ぜひ、ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。